

平成 25 年度 桐間地区事業所等津波避難対策協議会会議録

日 時：平成 25 年 6 月 13 日（木） 14：00～15：00

場 所：桐間東 29 番地 四国労働金庫須崎支店 2 階会議室

出席者：別紙のとおり

1. 挨拶

（地震・防災課長、須崎消防署長より）

本日の会議では 2 点の事項について協議をお願いしたい。

1 点目は、この協議会組織の在り方について協議を頂き、今後の事業展開をどのような形で進めていくか検討して頂きたい。

須崎市では 6 月議会に桐間地区の津波避難シミュレーションの実施に要する予算を計上しており、議決されればこの桐間地区での避難課題を具体的に皆さんと一緒に協議していきたいと考えている。

2 点目は、須崎道路への緊急避難階段が 3 月に完成し、管理者の土佐国道事務所から実際に訓練を行ってほしいとの話もある。

ただし、訓練を実施するには車両通行をストップすることになるので、具体的な内容と日程は決まっていないが、実施するにはご協力を願う。

（この会議の経過について説明）

（今回から参加するケースデンキの浜口支店長よりあいさつ）

2. 協議会の設置・運営について

2 月の会議で正式に協議会を設置する確認を頂いており、本日は、具体的な運営について、協議を願いたい。

役員について、桐間地区は事業所が主体であり、他の地区に組織されている自主防災会とは異なると考えており、市も入った中で、運営していく必要がある。

桐間地区には南、西、東の 3 つのブロックがあり、それぞれで役員（世話役）を願いたい。理由として津波緊急避難場所を設定する際にも要避難者が 1 箇所
の避難場所に集中しないよう 3 つのブロックで避難誘導していくことも確認している。

役員選出にあたり、事務局より役割と事務内容を以下のとおり説明。

協議会の開催等は市が行う。防災訓練や啓発・周知の声掛けなどをブロック内で行ってほしい。また、協議会を開催する前の打ち合わせなどを考えている。将来的には事業所等も今より増えると思うので、市だけでは対応できない部分

などの協力を願いたい。

○役員（世話役）

西地区：セントラルディーポ

東地区：四国労働金庫須崎支店

南地区：マエカワ種苗

○本協議会の会議については

年3回程度を考えている。本日を含めて、次回を9月～10月ごろ、次を年明けに開催したい。ただし、津波シミュレーションの関係で必要があれば随時、ご案内をする。シミュレーションの結果等も報告していきたい。

○協議会の活動について

現時点で市が決めていることは、9月1日（日）午前8時30分から市内全域で防災訓練を計画している。

桐間地区では時間の関係上、従業員の避難誘導訓練などを実施してほしい。

高速道路を使った避難訓練については、土佐国道事務所との調整もあるので、計画ができたらお願いしたい。なお、城山方面の避難経路等の整備について、土佐国道事務所から明確な回答を頂いていないが、避難経路沿いの草刈などは問題ないと思うので、協議会活動の一つとして取り組んで頂きたい。

3. 協議事項

○地震津波避難に係る啓発（チラシ・ポスターの製作・配布）

前回の会議で説明した桐間地区での啓発活動に必要なチラシポスターを現在作成している。本日、皆さんにご確認をいただき、最終校正を行っていききたい。

（別紙、ポスターチラシ案の説明）

桐間地区での避難課題として車両避難の問題がある。車両避難のリスクを伝え、徒歩での避難行動を促していく。なお、車両による避難については、原則、災害弱者の避難に限ることを市で定めている。

（質疑）避難マップのポスター立刷りはできるか。（店内に掲示する関係上）

（回答）チラシは枚数の都合上難しいと思うが、ポスターは業者に確認する。

○津波避難誘導板の設置場所

以前より要望のありました避難誘導看板の設置について、本年度に実施するよう計画している。看板は市内に設置してある避難場所名と避難方向を示したものを考えており、設置場所は各事業所のフェンスに設置したい。

別紙の設置予定箇所図をご確認いただき、設置時は事業所の承諾も含めて、

個別に連絡・協議をする。(時期は夏以降)

○アンケートの実施

津波シミュレーションの実施にあたり、各事業所から避難場所までの避難行動や避難者数を把握し、シミュレーションの基礎資料としてまとめる必要がある。市が作成する2択の簡単なアンケート(来店者の年齢、居住先、交通手段、避難場所の把握、避難方法)を各事業所で行ってほしい。

アンケート方法は各事業所でご検討を願いたい。用紙は啓発チラシ等と併せて7月に配布するので、アンケートの実施も7月中にお願いしたい。

○事業所駐車場内への避難場所案内板の設置

啓発物の作成や避難誘導板の設置、津波シミュレーションに必要な費用は、市の予算で概ね目途が立っているが、緊急避難場所を案内する掲示板の設置は予算的に厳しい状況である。費用面で協力を頂ける事業所があれば、案内板のデザイン等は市の方で提供するので、本社や事業所内で検討を頂き、次回にお話を伺いたい。

(質疑) 城山方面に向かう国道脇の避難経路の草を刈って頂いていたが。

(回答) セントラルディーポさんが2回ほど草刈と清掃を行って頂いた。

(質疑) 清掃の際に気が付いたことがあった。国道から城山への避難路入口がわかりづらいし、国道の歩道から城山に上るには、トンネル手前で国道を横切るようになるので、トンネル入口付近に誘導板などを設置できないか。

(回答) 土佐国道事務所との協議が必要となるが、国道を横切らず城山へ避難できる経路整備などと併せて検討していかなければならないと考える。いずれにしても現地を確認したい。

(質問) 避難場所までの時間を看板などに表示できないか。

(回答) 避難者によって時間の違いがあり、誤解を生じる恐れもあるので難しいと考える。来月に配布する津波避難計画のハザードマップに津波浸水予想時間を掲載しているので参考してほしい。

4. その他

(事務局)

アンケートについて、8月に入って集約に伺いたいので協力を願う。

(消防署長)

署のマニュアルは作成しているが、実際に南海地震が起きた際、現場への救

出は困難が予想される。桐間地区全体の課題として取り組んで頂きたい。

(分団長)

避難場所までの時間の目安について、多ノ郷分団が昨年調査したサークル K から桐間周辺緊急避難場所までの避難時間を参考にしてもらいたい。多ノ郷地区は須崎港の最深部に位置し、東日本大震災時も西日本最大の津波高（3.2 m）が記録され、過去のチリ地震津波でも桐間周辺は津波で浸水している。

桐間地区は津波からの浸水は避けられないと思うが、避難する時間はあると思うので、事業所などで避難訓練を行う場合は、消防団も協力するので声を掛けて頂きたい。